

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	太陽の子南砂2丁目保育園
施設所在地	東京都江東区
法人名	HITOWAキッズライフ株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

様々な表現を用いて、形を表す（散歩先で出会ったものを通して）

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

・散歩先の公園で小さな生き物や四季ならではの草花に興味を示す子が多かったので、自然に触れ子どもたちが自ら取り組み探究して行けることを目標にしていった。

2. 活動スケジュール

春ならではの虫・植物に出会う 4, 5, 6月

- ・散歩先で虫、植物を観察したり、ミニ図鑑で調べたりとする。
- ・ダンゴムシ(約100匹)を飼育しルーペを使い観察する。ダンゴムシを模写する。
(5月～9月)タマゴから赤ちゃんダンゴムシが産まれる。赤ちゃんダンゴムシの成長を日々観察する。
- ・子どもたちが公園で出会った生き物や草花を絵の具やクレヨンを使い表現する。(保護者向け展示)

ならではの虫・植物をグループ別に探求する 7, 8, 9月

- ・7月セミの脱皮映像を見る。セミの抜け殻を集め室内で観察したり、計量器で重さを調べたりする。
- ・カブトムシやクワガタを図鑑で調べ模写をする。(少人数)
- ・8月4グループ(昆虫①チーム ハムシ、昆虫②チーム オオスズメバチ、植物チーム 百日蒼、野菜果物チーム いちご)に分かれ知りたいものを1つ決め調べ探究し話し合う。
- ・夏ならではの生き物について調べ立体製作を模造紙に貼り表現する。(保護者向け展示)
- ・9月4グループの調べた物を個室でプロジェクターを使い動画鑑賞する。見た感想を伝え合う。
- ・調べた物を図鑑や写真を見て模写する。(保護者向け展示)

秋ならではの木の実に出会い収穫体験をする 10, 11, 12月

- ・10月～散歩先でどんぐりや木の実に触れていく。探索袋を持ち持ち帰り観察、製作していく。
- ・芋ほり遠足にて収穫体験をする。 秋について11月芋ほりの体験を立体製作へ(保護者向け展示)

冬 1年の経験を制作で表現する 1, 2月

- ・今までの経験を元に冬の立体制作に取り組んでいる。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・散歩先で気になった物をすぐに調べていけるように探検ポシェットにミニ図鑑を入れいつでも自然探索ができるようにした。
- ・四季の自然や虫、植物、野菜について各自が探究していけるように 図鑑(昆虫①、昆虫②、植物、野菜果物、季節)を購入。
- ➡子どもたちが自ら気になった物を調べる環境 室内に一人空間として図鑑コーナーの設置。
- ・一人一つのルーペを購入
- ➡飼育しているダンゴムシを観察、散歩先でアリやテントウムシ等気になった物が観察ができるように。
- ・天秤を購入
- ➡重さについて調べられるように 実験コーナーを設置
- ・子どもたちの気になるもの知る環境(実物写真の提示、動画鑑賞)

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ①一年を通し自然に触れ四季の共同制作をする。
→実際に見て自分たちで調べて何を作るか決め子どもたちで話し合いながら四季を表現していった。
(絵の具、クレヨン、画用紙、廃材、模造紙を使って行う)
- ②自然に触れた中で生き物に興味を示す
→ダンゴムシ成長過程を追う。虫眼鏡を使い観察する。
→セミの抜け殻やダンゴムシの重さを計量器や天秤で比べてみる。
- ③4グループに分かれ図鑑を使い探求していく。
(1回目→話し合い図鑑を見て気になるものを1つ決める。2回目→プロジェクターで調べた物を詳しく見ていく。3回目→調べた物について各グループ話し合う、図鑑や写真を見ながら模写をする。)
- ④四季の野菜について図鑑を使い調べる
→調べた野菜を模写し室内に提示

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

昆虫②オオスズメバチについて調べるグループ
子ども①「ブツブツ(蜂の巣)の中赤ちゃんが居るんだ」
子ども②「ブツブツ(蜂の巣)の中にハチミツ出てきた」(驚く表情)
保育者「ハチミツ食べた事ある？」
子ども①「ヨーグルトにかけて食べたことある」
子ども③「ハチミツ好きだよ」子ども②「でもブツブツの中から出てくるんだね」
子ども④「赤ちゃんたくさんいるね」子ども①「毛虫みたいだな」
などやり取りがあった。このグループではオオスズメバチの幼体や蜂の巣ができる過程について知ることが出来た。

植物 百日草を調べるグループ
子ども①「えー百日草ってピンク色じゃないの」
子ども②「いろんな色が合ってかわいい」
保育者「百日草お家でも育てられるんだね」
子ども④「ママにお願いして育ててみたい」子ども②「何色が咲くかな？楽しみ」
百日草を選んだ決め手はピンク色が綺麗だからと選んでいたが、実際はピンク色だけでなく赤色や、黄色、オレンジ色がある事を知り驚く姿があった。又、百日草を折り紙で作りたい。と話し合い子どもたちだけでハサミを使い作る姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

季節に応じて散歩で出会う生き物や植物に「これなんだろう」から自分で調べようとする姿が増えた。

自分で詳しく調べていく事で新たな発見に出会うことが出来た。

図鑑をいつでも見れるように図鑑コーナーや天秤で重さをはかる実験コーナーを設置していくと子どもたちの知りたい気持ちがより強くなったと感じた。

今後も自然に触れ四季を感じていけるようにしていきたい。

又、引き続き図鑑コーナーを設置し自分で知る楽しさを味わえるようにしていきたい。

模写や製作活動を通し自分で考えて表現する姿も見られてきたので、自由に表現出来る場や準備をしていきたい。